

人権教育・学習発表展

県内の学校や幼稚園などでは、家庭・地域とも連携し、年間を通して人権教育(ひびきあい活動)に取り組んでいます。

市では、小・中学校の「人権」に関する取り組みを広く市民の皆さんに知っていただくため、各校の人権学習の様子や、その成果をまとめた学習発表展を開催しています。

今年度の発表校は、次の11小学校です。

川並小学校・中川小学校・小野小学校・荒崎小学校・赤坂小学校・青墓小学校・牧田小学校・一之瀬小学校・多良小学校・時小学校・墨俣小学校

第1部 期間：平成31年1月21日(月)～2月1日(金)
※開催済 会場：市役所 1階ロビー

第2部 期間：平成31年2月8日(金)～2月21日(木)
会場：市立図書館 1階ロビー

第3部 期間：平成31年2月26日(火)～3月11日(月)
会場：上石津地域事務所 1階ロビー



市役所での展示の様子

今回は、発表校11小学校の作品から2点を紹介します。ぜひ会場で、他の小学校の取り組みもご覧ください。



川並小学校の発表



赤坂小学校の発表

人権擁護推進室からのお知らせ

人権Letterは、8月と2月に発行しています。
今回ご紹介した「市民人権とおく」や、市の人権施策について、ご意見・ご感想をお待ちしています。
また、「市民人権とおく」の寄稿についても随時受け付けています。
応募された方には、人権啓発グッズを差し上げます。ご応募をお待ちしています。

〈問い合わせ・寄稿先〉 〒503-8601 大垣市丸の内2-29 大垣市役所福祉部人権擁護推進室 まで
直通TEL：0584-47-8576 FAX：0584-81-5500 E-mail：jinken@city.ogaki.lg.jp



人権Letter

No.22
平成31年2月
発行

みんなで築こう 人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心～ 大垣市 福祉部 人権擁護推進室

私たちのまちには人権相談のパートナーがいます

～人権擁護委員をご存じですか?～



人権擁護委員は民間のボランティアで、市長の推薦を受け、法務大臣から委嘱されます。現在、大垣市では17名の委員が法務局と連携して活動しています。

現在の人権擁護委員制度は、昭和23年7月に、さまざまな分野の人たちが人権思想を広め、地域の中で人権が侵害されないように配慮して、人権を擁護していくことが望ましいという考えに基づき設けられました。平成30年には制度発足から70年を迎えました。

本市における人権擁護委員のおもな活動は、法務局や市役所などに設置された相談窓口において人権相談を受けること、人権侵害に関する調査・救済活動を行うこと、イベントでの街頭啓発や保育園などにおける人権創作劇といった啓発活動を行うことです。委員の皆さんは、日頃から、市民の人権問題の解決に向けた積極的な人権擁護活動に取り組んでいます。



水都まつりにおける街頭啓発



幼稚園での人権創作劇

市では、次のとおり、大垣人権擁護委員協議会と連携し、いじめ、差別、虐待などの相談に応じる「人権よろず相談」を実施しています。人権擁護委員が無料で相談に応じます。その秘密は固く守られますので、安心してお越しください。

【人権よろず相談】

相談場所	相談日	相談時間
大垣市役所 1階人権擁護推進室	毎月第3金曜日	13時～16時
上石津地域事務所 1階住民相談室	奇数月第2水曜日	9時30分～11時30分
墨俣地域事務所 2階相談室	奇数月第3木曜日	13時～16時

※相談日は、祝日などで変更の場合がありますので、事前に市人権擁護推進室(電話:47-8576)へご確認のうえお出かけください。



市民人権とおく

SHIMINJINKENTOKU

「広報おおがき」などにおいて募集した、心温まる「ちょっといい話」の中から、2つをご紹介します。

その1 さり気ない優しさ

学生時代の友人Aさんは、足が不自由で出掛けるときは常時杖が手放せない生活を送っています。Aさんは、大阪に嫁ぎましたが、私と会う時間が一番落ち着くからと、年に数回旅行に誘われます。今回は「長良川の鵜飼見学に行ったことがないからぜひ行きたい。」との希望があり、一緒に鵜飼見学に出掛けました。

私たちが乗った鵜飼船には外国からの観光客も多く、向かい合って座ったご夫妻は、香港の高校の先生でした。私たちは、お互いに片言の英語と日本語でコミュニケーションを楽しみながら鵜飼見物をしました。下船のとき、私がAさんを気遣い、最後に下りようとして残っていると、ご夫妻が私たちが下りるのを待ち、手を差し伸べて手助けをしてくれました。船は船底から腰までの高さがあり私一人では大変だったので、ご夫妻のさり気ない優しさにとっても感動しました。

(馬の瀬町 女性 A・Kさんから)



大垣市人権のまちづくり 懇話会委員のコメント

川での下船時の不安定さや不安感は何れもが感じることでですね。友人を気遣い最後に下船しようとしたA・Kさんの優しさと手を差し伸べた外国人ご夫妻の優しさ。二つの優しさが織り成す人の素晴らしさが伝わってきますね。きっと周りの人たちも温かな気持ちとなったことでしょうね。

その2 朝の集団登校

朝、揖斐川方面に通勤する途中のことでした。

交差点で信号待ちをしていると、小学生の集団登校の児童たちが、リーダーの指示に従って私の前の横断歩道を渡っている姿が目に入りました。

リーダーの女の子は、全員が横断歩道を渡り終わると、最後に感謝の意を含め私の方に向かって深々とおじぎをして集団登校の列に戻りました。

その光景を見たとき、とてもすがすがしい、感謝の心に満ちた姿を見たような気がして心が温かくなりました。

(室村町 男性 T・Kさんから)



大垣市人権のまちづくり 懇話会委員のコメント

リーダーの女の子が、運転手に向かって、おじぎをしている姿は素晴らしいですね。私も横断歩道で、そのような子を見ると、心が温かくなります。このような感謝の心をもった人が増えて、その輪がどんどん広がっていくといいですね。

「第70回人権週間」人権啓発活動

国連で「世界人権宣言」が採択された12月10日は「人権デー」です。毎年12月10日を最終日とする1週間(12月4日～10日)を人権週間と定めて、国や県、各市町村で様々な人権に関するイベントが行われています。

大垣市では平成30年12月2日(日)、岐阜地方法務局大垣支局と大垣人権擁護委員協議会の主催による「第70回人権週間 人権作品表彰式・朗読会」が、イオンタウン大垣で開催されました。

大垣支局管内(西濃圏域)の中学生から募集した「人権作文コンクール」作品、小学生から募集した「人権書道」と「人権ポスター」作品、それぞれの優秀作品の表彰式が行われました。その後、作文コンクールの優秀作品を受賞者自らが発表する朗読会が行われ、会場の皆さんから多くの拍手が送られました。また、書道とポスターの入賞作品は、人権週間中、イオンタウン大垣内で展示されました。



人権ポスターの展示

街頭啓発を行いました。

当日、小川敏市長、石川まさとし市議会議員、山本譲教育長が、一日人権擁護委員に委嘱されました。そして、人権擁護委員の皆さんや人権イメージキャラクターの「人KENまもる君」「人KENあゆみちゃん」と一緒に、多くの市民に人権啓発のチラシや啓発物品を配布し、人権を尊重する意識の普及・高揚を呼びかけました。啓発物品を受け取った人は、人権の大切さを改めて感じていました。



一日人権擁護委員による街頭啓発

人権・同和教育講演会

平成30年11月12日(月)に、大垣市・大垣市教育委員会主催による人権・同和教育講演会が、スイトピアセンター音楽堂で開催され、約260人が参加しました。

講演は、「逆説の日本史」などで知られる作家の井沢元彦さんを講師に迎え、「ケガレと日本人」と題して行われました。講演では、「死」をケガレとして避けてきた日本の歴史の検証をとおして、部落差別がどうして生まれ、なぜ続いているのかを説明され、参加した市民のみなさんは熱心に聞きっていました。

来年度も人権に関する講演会を予定していますので、みなさんもお家族・ご友人をお誘いのうえ、お越しください。



講師の井沢元彦さん